



令和2年3月

<3月の予定>

※3月5日～26日までお稽古はありません。

- 28日(土) 13:00～17:00 六年生を送る会(大宮体育館剣道場予約)
19:00～ 六年生の保護者を送る会
- ※夜の修道館のお稽古はありません。

<4月の予定>

- ◎稽古時間:
- 木曜日…17:00～19:00 (稽古場所は針ヶ谷小学校体育館)
 - 土曜日…15:00～17:00 (稽古場所は本太中学校修道館)
- 2日(木) 17:00～19:00 (大宮体育館剣道場予約)
 - 4日(土) ※お稽古はありません
 - 9日(木) 17:00～19:00 (大宮体育館剣道場予約)
 - 11日(土) ※お稽古はありません
一級審査会・合同稽古会(大宮武道館)
 - 18日(土) 15:30～17:00 剣道教室第1回受付(本太中学校修道館)
 - 23日(木) 17:00～18:00 剣道教室第2回受付(針ヶ谷小学校体育館)
 - 25日(土) 15:30～17:00 剣道教室第3回受付(本太中学校修道館)
第8回さいたま市剣道大会(大人の大会 大宮武道館)

<5月の予定>

- ◎稽古時間:
- 木曜日…17:00～19:00 (稽古場所は針ヶ谷小学校体育館)
 - 土曜日…15:00～17:00 (稽古場所は本太中学校修道館)
 - 木曜日…17:00～19:00 剣道教室①～②
 - 土曜日…15:00～17:00 剣道教室①～②
- 9日(土) 定期総会 15:30～17:00(本太中学校武道場 1F柔道場)
 - 21日(木) 剣道教室木曜コース初日 17:00～19:00
 - 23日(土) 剣道教室土曜コース初日 15:00～17:00

**※状況により中止や稽古場所の変更があります。
詳細等はslackをご確認下さい。**

◎2020年度 剣道教室を以下の内容で開催します◎

- 木曜コース：期間 令和2年5月21日(木)～6月25日(木) 全6回(午後5時～7時)
場所 さいたま市立針ヶ谷小学校体育館
- 土曜コース：期間 令和2年5月23日(土)～6月27日(土) 全6回(午後3時～5時)
場所 さいたま市立本太中学校修道館

募集学年： 小学1年生～6年生

お近くに興味がある方がいらしたら、お声がけください！！



本荘先生からの言葉

3月、暖かな春の気持ちの良い風を感じる季節となりましたが、新型コロナウイルスの影響で学校は休校となり、日々の生活が一変してしまいましたね。決まったことは受け入れ、手洗い、うがいなどをこまめに行い、人混みを避け、各自で、各ご家庭で感染防止に努めてください。また、家の中にずっといると知らず知らずのうちにストレスが溜まります。家族間でたくさんおしゃべりするなどして発散することも大事です。

駒剣の稽古については、表紙にありますように3月26日まではお休みとします。28日の6年生を送る会については、場所の確保はしてありますが今後状況を見ながらどうするか判断します。保護者を送る会も同様です。また、本太中学校と針ヶ谷小学校の学校施設開放の中止が4月12日までとなりそうですので、4月2日、9日は別の場所をおさえております。(4日、11日土曜日は予約できず。大宮体育館は大宮武道館とは別の場所です。)こちらについても実施するかどうかは未定です。情報を受け取れるようにしておいてください。

目に見えないものを相手にしているので不安はありますが、できることを落着いてやっつけていくしかありませんね。

2月11日にサイデン化学アリーナで行われた「浦和地区剣道錬成会」に参加してきました。高学年2チーム、中学年1チームの出場、参加希望者が21名だったことから7人の3チームをつくり、5人制の団体戦に交代で出場しました。4年生3人も高学年チームに入りがんばりました。いつもの個人戦だと1回戦で負けてしまい「声が出てなかった」「技を先に出せず待つてしまった」「緊張して良いところが出なかった」という感想で終わってしまうところですが、一人10試合程度は戦えたので、良いところも悪いところも一人一人はしっかりと表れました。特に悪い癖はどの試合にも共通するので、それを自覚できたことは収穫ととらえ、今後早い段階で直すよう努めてください。良かったところは伸ばしていきましょう。勝った負けたは大きなことではありません。他の団体の選手の良い技や動きなどを間近で見られたこともプラスになったはず。イメージトレーニングも大切です。

さて、6年生を送る時期となりました。今年の7人も個性豊かで稽古をしていて楽しいメンバーでした。素直な剣道をするのでこれから大きく成長してくれることと期待します。6年生がリードしてくれた2月29日の稽古、やっていて楽しかったです。自らに厳しい稽古を課していたのも印象的で、頼もしく映りました。


みんなに覚えていてほしいこと。あの日、一つ上の代のキャプテン、副キャプテン3人が稽古に参加してくれました。こういう状況になり、面倒を見た一つ下の代が小学生最後の稽古になるかと思って来てくれたのだと思います。夜の稽古には中2の代のキャプテン、副キャプテンも来てくれました。中3の代のキャプテンは進路の報告がてら顔を見せてくれ、さらにもう一つ上の代も稽古に参加して・・・と脈々と駒剣士の想いは繋がっているのだということを感じました。保護者も“地球最後の日”かのように大勢が稽古をビデオ撮影されていましたね。何事かと思いました。

こういう駒剣であるということ、そんなOB会員になるということ、いつでもみんなを見守ってくれているたくさんの先生方や保護者がいること、忘れないでください。人の縁を大切にすると人は人の縁に恵まれます。剣道をしていると不思議と縁が繋がっていきます。ですから剣道を続けていってほしいと思っています。卒業後、いつでも稽古をしに、遊びに、顔を見せに来てください。待っています。

6年生の保護者の皆様にも大変お世話になりました。今年の卒業生は下に駒剣士がいないので、後援部としては皆さん卒業となりますね。ただ、何人かのお父さんお母さんが錬成部として残ってくださるので、引き続き稽古の参加をお願いいたします。いずれにしても、駒剣OB会員の保護者もずっと駒剣ファミリーであり続けます。少し離れても駒剣とのご縁をよろしく願います。ありがとうございました。



師範の先生から卒業生へ お祝いのお言葉をいただきました



卒業生、卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。
加入期間の長さは、それぞれですが、深く駒剣に携わり、ご協力
いただき、駒剣士に愛情を注いでくださりありがとうございました。

「育ててくれてありがとう」

尾島 寿子先生

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。駒剣で剣道を始めて何カ月、又は何年たったでしょう？いくつもの習い事の中から剣道を選び、そして何を学ぶ事が出来ましたか？剣道を共にした期間は人生のほんの一時です。これからの社会で生きてゆく方法やヒントがその中に含まれています。それを活かすのは卒業してゆく駒剣士の心次第です。

中学という舞台は、小学生から一步進んだ道の世界です。今までの高学年・低学年のくりでなく、先輩・後輩の役割や立場が出てきます。環境は「有って当たり前でなく、有って感謝しなくても作ってゆく！」そんな気持ちでスタートしてほしいと思います。

駒剣の子供は卒業するまでに、心も体も技も著しく成長します。そしてその保護者の方々も、我が子の様に駒剣士を思い育ててくれます。まさに「育ててくれてありがとう」と感謝の念で一杯です。

昔昔に駒剣を巢立った教え子の関口先輩が、今駒剣に来てくれています。旧婦人部発足 20 周年を迎え、次の代の婦人が大勢稽古に励んでいます。剣道リバイバルお父さんが子供の卒業後も駒剣士の育成に携わってくれています。この様に次の世代に繋がり続け、駒剣の意志と歴史を伝承し駒場ファミリー(家族の)の子孫がずっとずっと平和で生活し、剣道が出来ますように願っています。

卒業おめでとう

山田 節男先生

六年生のみなさん卒業おめでとうございます。毎年、この季節になると同じようなことを思いながらこの文章を書いています。

年月のたつのは早いなあ、みんな大きくなったなあということです。みなさんそれぞれ剣道を始めた時期は違いますが、それぞれ頑張って卒業を迎えることになりました。

この原稿を書いている頃は、二十四節気(にじゅうしせつき)の雨水(うすい)の頃で、(今年は2月19日)これが皆さんの目に触れる頃は同じく啓蟄(けいちつ)の頃(今年は3月5日)だと思います。

二十四節気とは、昔の太陰暦(たいいんれき)という暦を使っていた時代の頃の季節を表すために一年を二十四に分けて季節を表したもので、みなさんも立春とか春分という言葉を知ったり使ったりしたことがあると思います。

雨水(うすい)とは、空から降るものが雪から雨になるような気候のころ、そして啓蟄(けいちつ)は冬眠(とうみん)していた虫たちが目覚め(めざめ)地表に出始める気候のころ、冬から本格的な春への間の時季(じき)の中でわずかな変化が表れていくころです。寒い寒いと言いつつ今年は、外に霜柱(しもばしら)が立つようなこともこの辺ではあまりなかったと思いますが、それでも、まだ外に出ると寒い風が吹いてきますし、朝晩はまだまだ寒くて起きられない日もあります。もっと北の国では、雪が降っています。それでも少しずつ日中の空気が1月の頃と比べると柔らかく春が近づいていることが感じられると思います。

春は万物(ばんぶつ)が発する季節、命あるものが生まれ、芽生え(めばえ)動き出す、そんな季節です。

この春を迎える時に、みなさんは小学校からの卒業を迎えるわけです。六年間というみなさんにとっでは生まれてからの半分の年月を過ごした場所である小学校からの卒業そして、その小学校生活の一部を占めていた駒場剣友会からの卒業です。

卒業を迎えるということは同時に新しい生活に入ることでもあります。新しいことが生まれるということでもあります。

さきほど書いたように気がつきませんが、みなさんのだれにも同じように時間は動いていきます。あわてることなくしっかりと行動をしていってください。

初めのうちは目新しく感じる新しい生活がすぐに変化のあまり感じられないものになってしまうかもしれません。そんな時でも時間は同じように動いていきます。自分のやることをよく考えてしっかりと生活していってください。

しかし、もし新しい生活の中でどうしようかと思ったときはいつでも駒場剣友会に顔をだしてください。そんな時はいっしょに考えましょう。みなさんはこれからもずっと駒場剣友会のなかまです。

卒業おめでとう。そしてこれからの新しい生活をお祝いします。

6年生に贈る言葉

木村裕之先生

飯田君、飯山君、宇野君、竹中君、張君、大江君、轡田君、卒業おめでとう。心身共に大きく成長した君たちの姿が、頼もしく思われ、元気に卒業の日が迎えられたことをたいへん嬉しく思います。

これから君たちはそれぞれ中学校へと進み、新しい生活のスタートに期待と希望で一杯かと思えます。新しいスタートラインに経ち、卒業というこの時期にひととき立ち止まって、自分が剣道を通じて何を学んだのか思い浮かべてください。駒剣での毎週の苦しかった稽古、楽しかった合宿などの経験は、きっと君たちの大切な財産になるでしょう。

君たちに望むこととして、これから中学へ進み、その上の学校、そして社会人になってゆく中で、剣道とは少しでもつながっていて欲しいなと思っています。剣道を生涯続けて行くことはとてもたいへんなことです。勉強、仕事、家庭の事情などで中断することもあると思います。しかし、剣道の良いところはいつでも再開できることです。

私のことで恐縮ですが、43才の時に20数年ぶりに竹刀を握りました。その後10年間程駒剣で楽しく稽古を続けていましたが、53才の時に原因不明の体調不良で稽古ができなくなってしまいました。60才の時に医学の進歩で原因も分かり、以前のようにはいきませんが7年ぶりに改めてゆっくと稽古を再開することができました。今では皆さんに一杯打たれますが、時々稽古させて頂く時間は楽しいひと時です。もし将来、君たちが剣道から離れる時があったとしても、剣道はいつでも再開できます。剣道はマイペースで良いので、少しでもつながっていて欲しいなと思っています。

中学生生活は楽しみですね。剣道と同じように学校生活も勉強も、どんな小さな目標も良いので計画を立てて、それを少しでも達成して、達成した事の感動を味わうようにして欲しいなと思っています。そして、また新たな目標を立てて、一生懸命努力をして、それを達成する。そしてその感動を実感する。また新しい次の目標に向かう。といったサイクルを習慣付けて、常に新たな目標にチャレンジしてきた駒剣の精神を忘れないで欲しいと思っています。

これからも成長した姿を駒剣の仲間達に見せにきてください。
卒業おめでとう。



新ジャイアンのはなうた♪

よっ！ みんな、元気か？

なんだか、コロナウィルスの件で、世の中が大変だな。

でも、こういうときは、冷静な判断をすることが大切だな。マスクだけでなく、ティッシュやトイレトペーパーなどがなくなっているようだけど、ちょっと考えれば、わかるはずなんだけどな。

6年生は、いろいろなイベントが中止になったり、変更になったりするかもしれないけど、がっかりしないで、その時、その時を大切に、楽しんで、思い出にすればいいんじゃないかな？ 駒剣の先生方や仲間たちにも、あの年の卒業生だって記憶に残ると思うぞ。どうにもならないことをうだうだ言っても何にもならないので、その中で、できることをやっていけばいいと思うぞ。ちなみにジャイアンが駒剣に入ったのは、東日本大震災の年だったな。懐かしいな。

さて、2月29日は今年度最後の稽古になったけど、すごく盛り上がったな。6年生の指揮も良かったし、みんなの気持ちも1つになっていたように思うぞ。こういう稽古を積み重ねていくと、きっと早く上達するはずだぞ。だから、あのときの気持ちを忘れないで、稽古が再開したときは、同じような気持ちで稽古をするといいな。そうわかっているけど、なかなかできないのが人間なんだよな。でも、できなくてもいいんだ。大切なのは、やろうとすることだぞ。なにがとも、気持ちが大切だな。そうすれば、きっと良い結果が得られるぞ。

2月29日の礼式で、山田先生が、2月29日に生まれた人はいつ年をとるのか、という話をしていたな。そこで、少し、調べたことを報告するな。

まず、日本の国は、法律で動いているので、年齢についても、「年齢計算に関する法律」っていうのが定められているんだ。その法律に①「年齢ハ出生ノ日ヨリ之ヲ起算ス」って決められているんだ。でも、これだと、生まれた日から計算するっていうだけだから、よくわからないな。そこで、年齢計算に関する法律では、②「民法第一百四十三条ノ規定ハ年齢ノ計算ニ之ヲ準用ス」って決めてるぞ。簡単にいうと、民法143条の規定を使って年齢計算することなんだ。じゃあ、民法143条はどうきまっているかっていうと、「週、月又は年の初めから期間を起算しないときは、その期間は、最後の週、月又は年においてその起算日に相当する日の前日に満了する。ただし、月又は年によって期間を定めた場合において、最後の月に相当する日がないときは、その月の末日に満了する。」となっているんだ。

ちょっと難しいけど、当てはめてみると、2月29日生れの人、うるう年の時は2月29日の前の日に満了するので、2月28日を超えたときに年を取ることになるし、うるう年でない時は、応答する日がないので、その月の末日の2月28日を超えた時に年をとることになるんだ。

なんだか難しいけど、結局、2月29日生れの人、2月28日を過ぎたときに年をとることだな。

簡単なことでも、文章にして決めようとする、なんだか大変だな。興味のある人は、いろいろ調べて見ると面白いかもな。調べたら、その結果をジャイアンにも教えてくれよな。

じゃあ、またな！

太郎の百錬自得



第72回

コロナウイルスの影響で、大会や錬成会だけでなく通常の稽古までできなくなっています。6年生を送る会もできるかわかりません。震災の時以来の非常事態だと思います。私も稽古もできないなんて、という気持ちもありますが、こういうときは気持ちを切り替えていくしかありません。一刻も早く収束に向かうように願いつつ、今やれることをしっかりやりましょう。決して周りに流されてしまったり、時間を無駄にすることがないようにしたいですね。

時間は待ってくれません。6年生のみんな、いよいよ卒業の月です。一緒に稽古してきたみんなを送り出すのは、駒剣で成長した過程と今の頼もしくなった姿をみると、嬉しい反面、毎年やはり寂しい気持ちもします。ぜひ、これまで支えてくれた保護者の方々をはじめとした周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、中学生生活も実のあるものにしてくださいね。私としてはまた稽古できる日がくるのを楽しみにしていますよ。さて、今回は「強さと冴え」について、です。

有効打突の要素のひとつに、「強さと冴え」というのがあります。どうやったら「強さと冴え」のある打ちができるでしょうか？

先に、強さの要素を考えてみます。打突部位に近づいていくスピード、上から下に竹刀が振り下ろされていく遠心力、物体(打つ本人)の質量、で決まるでしょう。素早く体を移動させて、一拍子で振る、に尽きますよね。あとは重いものを振ってみたり、軽いものを振って早く振れるようにしてみたり、筋力を鍛えるしかありませんね。これだけでは、身体に恵まれた人が有利なだけになってしまいます。次に冴えです。冴えは、肉体的な不利を補う大事なもの(つまり、強さを補う)ですが、多少技術が必要になります。大きくふたつのテコの原理を使うと思ってください。

まずは、両腕の押し引きの力です。右手は押し手、左手は引き手、です。打突時、左手は引き、胸の中心に、右手は押し、肩と並行の高さにします。このときの、引き力と、押す力がテコの原理となって、竹刀のものうちから打突部位に伝わります。

そして「手の内」も大事です。いわゆる手首のスナップを効かせることです。ほどほどに緩ませておいて、打突時に小指は自分側に引いて、親指や人差し指は相手側に押します。両手ともできるといいです。これもテコの原理ですね。私は小学生、そして中学生のみんなには、冴え、を磨いてほしいと思います。冴え、は刀なら切れるか切れないか、の分かれ道です。この稽古は、家でもできます。空のボトルを左手で振る、お風呂場で水面を打つ(怒られないように!)などですね。次回に稽古再開したときに、「お！変わったなあ。」と思われるくらい、磨いておきたいものですね。またみんなを会える時を楽しみに、私もやれることをやっておきたいと思います。それでは。



卒業生&保護者の方から駒剣のみなさんへ

卒業に際し、6年生と保護者の皆さまに溢れる想いを書いていただきました。
共に過ごした時間を思い返しなが、じっくりご覧ください。

【卒業生より】

竹中くん

僕は3年生の剣道教室から入会しました。初めて見学した時は、先輩達の迫力にとっても驚きました。自分は公園などで棒を拾っては振り回して遊んでいたり、戦国武将やスターウォーズが好きだったので、とても剣道をしてみたいと思いました。ですが、見るのとやるのでは大違いで、なかなかうまく出来ませんでした。かんしゃくをおこしやすい僕がそれでも剣道が続けることが出来たのは、温かい雰囲気を作ってくれた先生方や先輩達のおかげだと思います。初めての大会で強い子に瞬殺されたときも「もっと強くなって、たくさん勝てるようになりたい」と前向きになれました。駒剣の雰囲気が僕を変えてくれたのだと思います。失敗を悔やむだけでなく、反省して次に生かすということが出来るようになってからは、試合でも勝てることが多くなった気がします。6年生になり、入会した時にあこがれた先輩という立場になりました。キャプテンになったおかげで、人前で話すことや、自分から進んで行動することが出来るようになりました。それから合宿の選手宣誓でど忘れしたり、OB会で負けたり、強化選手になって県大会に行ったり。駒剣にはたくさんの思い出があります。全部話すと何時間あっても足りないの、駒剣での思い出の一部を書きました。僕は大好きな剣道を中学校でも続けたいと思っています。剣道という僕を変えてくれた武道を好きになれたのは、楽しく、温かく、優しく接してくれた先生方、保護者の方々、小学生のみんなのおかげです。いつも伝えられていない分の感謝の気持ちを伝えたいです。入会してからの4年間、本当にありがとうございました。

飯田くん

3年生から4年間お世話になりました。僕は、兄が先に入っていた関係で、駒剣に入会しました。入った時は、全くと言ってよいほど、剣道が好きではありませんでした。しかし、先生方や先輩方に話しかけていただいたり、友達が出来たりして、最初に駒剣のことを好きになれました。いつも試合に出させていただいても、ほとんど初戦敗退でしたが、先生方にご指導いただき、やっと、5年生の最後に試合に勝って、剣道が好きになりました。駒剣の仲間と、稽古をして汗を流した思い出を一生忘れません。いろいろなご迷惑をかけたり、頼りない6年生でしたが、駒剣での生活は本当に楽しかったです。先生方、保護者の皆様、駒剣士のみんなのおかげです。4年間、ありがとうございました。

飯山くん

ぼくは、3年生の剣道教室から入会しました。入会したばかりのころは、剣道が好きではなくよく休んでいました。それは打たれて痛いのが嫌だったからです。でも、そのことを尾島先生に相談して作っていただいた赤たすきシステムのおかげで、先輩と一緒に稽古するのが怖くなくなり、稽古に行けるようになりました。優しい先輩や友達と一緒に稽古をしていくうちに、剣道の楽しさにも気がきました。今では剣道がとても好きになりました。お世話になった先生方、先輩方、駒剣のみなさん、4年間ありがとうございました。中学生になっても剣道が続けたいと思っています。修道館にうかがった時にはどうぞよろしくお願いします。

- 宇野くん 2年間、ご指導いただき、ありがとうございます。2年前は、母より勧められて入会しましたが、やってみると思ったより面白く、2年間続けることが出来ました。公式戦では一勝も出来ませんでした。経験積んで一勝することが今の目標です。中学に進学してどのようなスポーツをしたとしても、駒場剣友会で教えられた礼儀などを胸に頑張っていきたいと思えます。
- 大江くん 剣道教室の最初の頃は、竹刀が重くて面に当てる時にぶれてしまったり、相手の小手が外れた時にめっちゃくちゃ痛くて、続けられるか不安になりましたが、先生方が丁寧に教えてくださったおかげで竹刀の重さにも慣れ、当たるようになってくると面白いと感じるようになりました。
夏合宿にも参加させてもらいました。最初はついていけるかどうか不安でしたが、形や掛かり稽古など、初めての練習に参加させてもらい、剣道の面白さを実感しました。寒稽古では朝は意外と楽に起きられたのですが、練習の最初に、知らない人と二人組になるために声をかけるのが緊張しました。竜田川の頃にはもうすでに疲れ切っていて、体が動かなくなり、大変でしたが、寒稽古に参加したおかげで有効打突の面を意識できるようになり、いい経験になりました。初めての月例試合では初めて勝つことができたのが嬉しかったです。また、錬成会では、一日に10試合以上も試合をして疲れたのですが、その分実戦を通じて経験を重ね、何回か勝つこともできました。試合相手の技を参考にして自分なりに技を工夫してみることもできました。
6年生でのスタートだったので短い間でしたが、先生方、先輩方、保護者の皆さんに教えていただきながら、充実した日々を過ごすことが出来ました。本当にお世話になりました。ありがとうございます。
- 轡田くん 僕は6年生から駒剣にお世話になりました。
初めは何をするのか分からなかったけれど、先生方や先輩が優しく教えてくれて、楽しく剣道をする事ができました。
合宿では緊張があったり、まだ慣れていないことがあって、装着に手間取ってしまいましたが、色々な人が手伝ってくれたので、稽古に励むことができました。時には疲れてしまって、稽古に行きたくないと思う日もありました。でも、行ったら友達と話したりしてとても楽しかったので、稽古も頑張れました。5月からの短くあつという間の時間でしたが、たくさんのお話を学ばせていただきありがとうございます。
中学校でも剣道を続けていきたいと思っているので、また駒剣の合宿や稽古に参加させていただきたいです。
これからもよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。
- 張くん 3年間、本当に先生たちに感謝しております。3年間いろんなことがありました、苦しいときも多かったと思いますが、剣道先生と一緒に協力して見事に成長しました。日常生活中、心が負けそうな時、泣きそうな時、消えてしまいそうな時は剣道の稽古のことを考えながら、戦って来ました。その心の強さが駒場剣友会のおかげで、ぼくは成長してきました。
いつも協力していただいて保護者たちにも感謝いたします。ぼくがけがをしたとき、体が弱いとき、いつも丁寧に手伝ってくれて、やさしく対応してくれました。心より感謝いたします。
この剣道から学んだ精神を持って、中学校でも剣道を続けて稽古したいと思います。いい成績を取れましたら、先生たちに報告に行きます。どうもありがとうございました。



【卒業生保護者より】

竹中さん(母)



文梧は小さな頃から元気いっぱい、拾った枝を持ち帰っては玄関横にコレクションし、家の中でも振り回して遊んでいるような子でした。一方で打たれ弱いところがあり、嫌なことや面倒なことからは要領よく逃げる一面も。もう少し心を鍛えてもらいたいという思いから剣道をすすめたのは3年生になってすぐのことでした。当初は通っている小学校の体育館で活動しているY剣友会さんに入会させるつもりだったのが、ご縁とは不思議なもので、たまたまその年チラシが配布されるのが遅く、では他で…と探し出会ったのが駒剣の剣道教室開催のお知らせだったのです。その後はもう剣道一直線。稽古を嫌がることもなく、私が剣道を再開することを誰よりも喜び、先輩駒剣士として駒剣のローカルルール(?)も教えてくれました。私が中学生のときに愛用していた竹刀袋を今は息子が背負い、週2回、片道20分の道のりを二人で幾度往復したことでしょうか。その日の稽古を振り返ってみたり、師範の先生方のお話で分からなかったことを聞かれたり、剣道の難しさに意気投合し盛り上がりたり…。文梧がいつか大人になり巣立った後も、きっと事あるごとに思い出すであろう宝物のような時間でした。

キャプテンとなってからは悩んだり壁に突き当たったりすることもあったかと思いますが、弱音を吐くこともなくひたすらキャプテンとしての責任を果たそうと努力しているようでした。しかしながら私自身も副部長の仕事で手一杯になり、なかなか文梧への声掛けができないこともありました。そんなときでも師範の先生方をはじめ錬成部の方々、保護者のみなさんが見守って下さり、文梧はもちろん私にも温かく声を掛けて下さったことは大変心強くありがたいことでした。剣道を通して身体だけでなく、心も育てていただいたことを心から感謝致します。子供たちと剣道をする楽しさ、剣道を通して育っていく子供たちを見守る喜びを知ってしまった私は、きっと今後も駒剣に関わらずにはいられないはず…。時には中学生になった息子を連れ、今後もお稽古に通わせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

飯田さん(母)



兄に引っ張られるように、哲平が駒剣に入会したのは3年生の春でした。常に兄がやる気満々であったためか、反対に、「家では剣道のことは思い出したくない。」ときっぱり言うほど熱がありませんでした。しかし、先生方がご指導くださり、稽古だけでなく、行事や合宿等でも先輩方や同期の仲間、後輩の皆さんに仲良くしていただき、駒剣が好きになっていったのが分かりました。5年生の途中位から段々と変わってきたように思います。6年生では、自分なりに6年生の務めを果たそうとしたり、試合に負けると悔しさを漏らすようになりました。

保護者の私にとっても、弟の哲平と過ごした2年間は、夢中で過ごした初めの3年とは違いました。師範の先生方・錬成部の先生方の、熱心で愛情深い、温かいご指導は常に変わりません。駒剣の先生方は、こんなにも、子どもを長い目で見てくださいるのだということを実感した、感謝の2年間でした。保護者の皆様は、親がいないところでも、子どもの良いところを見て下さいました。親の自分が焦っていても、『駒剣』が静かに、親子共々、ご指導し続けてくださったことを感じ、本当に勉強になりました。

哲平には、駒剣で育てていただいた感謝の気持ちを忘れず、戴いたご縁を大切に、教えて戴いたことを『根っこ』に、どんな環境であっても頑張っていってほしいと思います。先輩や先輩保護者の皆様の背中を見て学んだこと、そのバトンの後輩や後輩保護者の皆様にお渡し出来たのかどうか、正直、自分達を振り返って自信はありません。しかし、駒剣という、かけがえのない場所を与えてくださったこと、皆様、本当にありがとうございました。心から感謝しております。今後とも、ご指導お願い申し上げます。

飯山さん(父)



息子が駒剣にお世話になったのは小学校3年生からで、4年間お世話になりありがとうございました。大世は小さいころから木の棒を振り回すのが大好きで、近所の公園では親子でチャンバラごっこをしていたりもして、剣道を習うことには何の戸惑いもなく始めることができました。

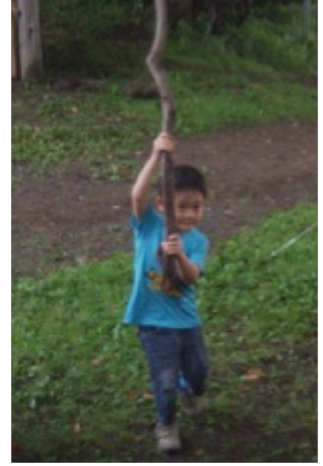
ところがいざ習い始めてみると、なかなか自分の思い通りにいかなかったようで一時期稽古に行けなくなる時期がありました。そんな中でも、師範の先生方や錬成部、後援部の皆様のご指導ご支援により、4年間無事に剣道を続けることができとても感謝しています。

ひとりっ子の大世は、競争心が足りないところがあり、試合では受け身の姿勢になるためなかなか勝つことが出来ませんが、先日の団体戦で初めて大将を任された際、自分が試合に勝てず上に上がれなかった時に見せた悔し涙の経験は、彼を一回り大きくしたのではないかと思っています。

また、夏合宿のレクリエーションの時間に、人一倍汗をかきながら本気で遊んでいる姿はとても微笑ましく、頼もしいものがありました。その時、父親は熱中症でダウンしていましたが(汗)。

私ごととなりますが、最初の一年間は剣道を再開することに不安や戸惑いがあり見守るだけになっていました。しかしながら、寒稽古打ち上げの席で錬成部の皆さんに強く背中を押していただき、その時は酒の勢いもあり、35年振りに竹刀を握ると約束をしていました。いざ始めてみると、既に準備運動の段階で息が上がり、汗が人の何倍も噴き出してくる状態で、いまだに若い頃の記憶に身体がついてこられず身体が悲鳴をあげる状態です。それでも、親子で同じ練習をして一緒に汗を流すという体験ができたことは、大世にとっても私にとっても大切な思い出となりました。

息子はこの駒剣で、剣道だけでなくもっと多くのことを学ばせていただきたいと思います。これは師範の先生方の子供達への熱い思い、また錬成部や後援部の多くの大人たちが我が子のように子供たちの成長を見守ってくれているという、駒剣伝統の素晴らしいさがあると思います。この素晴らしい駒剣が、末永く続いていくことを強く願っております。



宇野さん(母)



何のスポーツをしても、どう思っているかもわからないままのりくりとやっていた息子。剣道もやらされている感満載で、勝負欲もなく、思春期にも入りかけているので難しいなと思っていたところに、息子が「俺、剣道は、行く前は嫌だと思って行くけど、稽古すると楽しくなって、稽古中は一回も嫌だと思ったことがない」と。実は剣道を楽しんでいたんだとわかり、少しホッとしました。彼には、これから先、何か一つでいいので熱中しやり遂げる喜びや辛さを学んでもらえたらと思っています。そんな息子をご指導くださいました師範の先生方、錬成部の先生方。優しく導いてくれた先輩方。駒剣を最後まで理解していない私に色々教えてくださった保護者の皆様。感謝しております。ありがとうございました。

大江さん(母)



剣道をやってみたくて本人が言い出した時には正直驚きました。漫画での憧れ以外に剣道との接点はほとんどなく、親子共々全く知らない世界だったので、不安の方が大きかったのを覚えています。ですが、剣道教室の申し込みに来た時、駒剣の剣士たちが体育館の入り口で待っていてくれて、駒剣の説明を聞きに来たと分かると意気揚々と案内をしてくれて、不安も吹き飛びました。こんな澆刺とした子供達と一緒に活動させてもらえるのなら、のんびりしている正朗にとっても素晴らしい刺激になるだろうとワクワクしました。

剣道教室が始まってみると、面の痛さや、慣れない動きに戸惑うこともありましたが、先生方の温かいご指導と、受けてくださる面の打ち込みの気持ち良さや、袴や防具、所作のカッコ良さから、どんどん剣道に引き込まれていきまし

た。家や出先でも、気がつくときと踏み込みの練習をしていることがあり驚きました。また、ちょっとした仕事を頼んだ時に、今までではみられなかったような速さで動いてくれて、「まずは心を磨け」という道場訓を本人なりに実践しようとしているように感じます。

先生方、保護者の方々、剣士の皆さんには本当にお世話になりました。親子共々何も分からない私たちを温かい目で見守ってくださり、本当にありがとうございました。今後もよろしく願います。

轡田さん(母)



昨年4月に剣道教室の申し込みに訪れた際、駒剣士たちの笑顔と挨拶がとても気持ちよく、倫太郎もこんな風になれたらいいなあと期待に胸を膨らませたのが、つい先日のことのように思います。

剣道場独特の凜とした雰囲気、親子で緊張しながら礼をし、初めて足を踏み入れて以来、倫太郎の心の中は剣道でいっぱいになりました。

剣道教室では、先生方が一から丁寧に優しくご指導くださり、また先輩剣士達がお手本となり一緒に参加してくれていたの、安心して楽しく稽古に励んでいたのだと思います。決して器用なタイプではない倫太郎は、先生や先輩たちがかけてくださる言葉をよく聞き、考え、体現しようと一生懸命に頑張っていました。「6年生で初心者」初めのうちは、何とか周りとの差をつめていきたいという気持ちもあったように思います。でも焦らず前向きに稽古に励んでいたのは、同じく剣道を始めた仲間が存在がとても大きかったようです。

剣道教室からはじまり、夏合宿、親子剣道教室、クリスマス会、寒稽古、初めての試合、楽しみ苦しみ、嬉しさと悔しさ。この一年の中で、親子で様々な経験をさせていただきました。師範の先生をはじめ錬成部の先生方、後援部の皆様、駒剣士の皆さん、いつも温かく導いてくださり、接していただき、本当にありがとうございました。倫太郎が剣道を大好きになれたのは駒剣のおかげです。皆様と過ごせた一年は特別な一年になりました。

張さん(母)



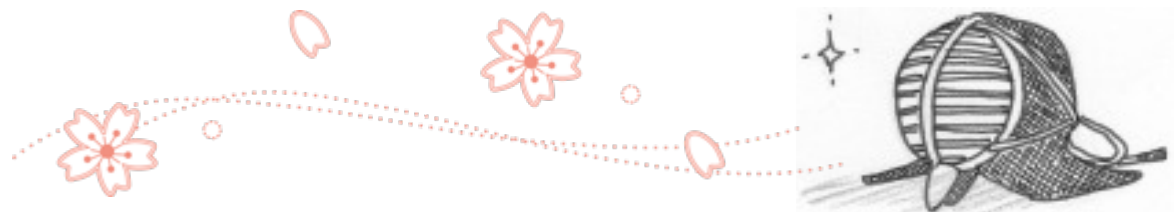
三年間、駒場剣道場の皆様、本当にお世話になりました。心より感謝いたします。先生方の熱心な指導のおかげと深く感謝しております。剣道は勝ち負けではなく、心を鍛えるものです。これは実感があります。旭が弱くて、泣きやすい子でしたが強く、自信を持つことができるようになりました。

剣道場に入る前にまだ幼さの残る顔つきでした。体格や考え方もこの3年間大人に近づきました。この3年間の時間の速さと成長に驚かされるばかりです。充実した時間を過ごし、たくさんなことを学んだ三年だったのがわかります。人格形成の基礎づくりをしていただき、われわれ家族は感謝の気持ちでいっぱいあります。

保護者委員会の方にも感謝の気持ちがいっぱいあります。国籍関係なく、いつも熱心に、責任強く子供たちに見守っていただいて、本当に感動しました。親もいろいろな活動を通して、親の責任をしっかりと意識をし、親も子供と一緒に成長しました。

駒場で学んだ訓である慈愛の精神や、負けない心を武器にこれからの困難にも見事に乗り切ってくれるだろうと期待しております。

どうもありがとうございました。



第11回浦和地区剣道錬成会

令和2年2月11日(祝)

@サイデン化学アリーナ

各チームとも15試合とたくさんの試合を行うことができました。強いチームとたくさん対戦させていただき相手から学ぶこと、自分自身に気付くことがあったことと思います。より高みを目指して頑張れ、こまけん!

【結果】 数字は勝者数(本数)

高学年A 竹中、飯田、飯山、大江、轡田、小澤、柴田

駒場剣友会A	4(5)	○	—	0(0)	三室剣道部
	4(7)	○	—	0(0)	富士見剣友会
	0(0)		— ○	3(5)	川口市南剣友会(中)
	2(5)	○	—	1(4)	城南剣道学友会
	1(1)		— ○	3(5)	修心館B
	1(2)		— ○	3(4)	一心館A
	0(0)		— ○	5(9)	松井剣志会
	0(0)		— ○	4(6)	修心館A
	1(1)		— ○	2(4)	一心館B
	1(3)		— ○	3(6)	中尾少年剣士会A
	1(1)		×	1(1)	田島団地剣友会
	0(2)		— ○	2(5)	川越武道館少年部
	2(4)	○	—	2(3)	三室剣道部
	2(3)	○	—	1(1)	霞剣友会B
	0(0)		— ○	5(8)	やどかり剣生会

高学年B 秋本、加藤、上岡、廣江(優)、宮島(英)、百木(慎)、岩田

駒場剣友会B	0(1)		— ○	1(3)	天翔剣友会
	1(1)		— ○	3(6)	一心館B
	0(0)		— ○	3(5)	蕨南剣道クラブ
	1(3)		— ○	3(4)	一ノ割剣道
	2(4)		— ○	3(6)	鳩ヶ谷剣友会(中)
	0(0)		— ○	4(5)	修心館A
	0(0)		— ○	3(6)	大山青少年剣友会
	2(3)		— ○	3(7)	田島剣友会B
	1(4)		— ○	3(6)	霞剣友会B
	3(4)	○	—	2(4)	川口市南剣友会B
	1(2)		— ○	3(5)	田島剣友会A
	2(3)	○	—	1(2)	富士見剣友会



2(3)	○	—	1(1)	天翔剣友会
1(1)		— ○	2(3)	滝小剣友会
0(1)		— ○	1(3)	春日部剣真会

中学年

小島、品田、矢嶋、高山、廣江(大)、宮島(佑)、百木(廉)

駒場剣友会C	3(4)	○	—	1(2)	中尾少年剣士会
	1(3)		— ○	1(4)	春日部剣真会
	2(3)		— ○	3(5)	田島剣友会
	3(4)	○	—	0(0)	上平
	0(0)		— ○	3(6)	一心館
	2(4)		— ○	2(5)	やどかり剣生会
	3(4)	○	—	1(1)	三室剣友会
	1(4)		— ○	3(6)	川口市南剣友会
	4(7)	○	—	1(2)	滝小剣友会
	3(4)	○	—	1(2)	霞剣友会
	1(3)		×	1(3)	鳩ヶ谷剣友会
	2(2)		— ○	2(3)	大山青少年剣友会
	0(0)		— ○	2(3)	修心館B
	0(0)		— ○	5(9)	松井剣士会(高)
	0(0)		— ○	4(6)	鳩ヶ谷剣友会(高)

【出場選手の感想】

竹中くん

浦和地区剣道錬成会に出場させていただきありがとうございました。今回11試合に出場し、いろいろなことに気付くことができました。前半は、相手を攻めて崩れたところを打つことができ、たくさん勝つことが出来ました。後半は、ひざの痛みが強くなってしまい、自分のペースで試合が出来ませんでした。ですが、右膝に痛みを感じてから、自分が右足に重心を乗せてしまっていることが分かりました。今後の稽古では左足に重心を乗せるようにすることと、体調管理に気を付けたいです。応援して下さいました先生方、保護者の方々、小学生のみんな、ありがとうございました。今後も厳しい稽古をお願いします。

飯田くん

この度は、浦和地区錬成会に参加させていただき、ありがとうございました。今回の試合では、試合が始まった時に、相手に先を取られ、相手のペースで試合をしてしまい、油断したすきに一本取られてしまうことがありました。これから、立ち上がったらずぐに先に攻めるということを意識し、稽古にはげみたいですね。先生方、これからもご指導よろしくお願い致します。

飯山くん 浦和地区剣道錬成会に出場させていただきありがとうございました。
今回の試合は、僕のくせの「相手が打ってくるのをよけてから打つ」というのが一番出てしまった試合でした。
先生から「よけてから打っても一本にならない」と何度も言われているので、そのくせを早く直せるよう稽古していきたいです。
また、今回の試合でも胴を何回か決められてしまったので、自分が胴を打てるように稽古をして相手が胴を打ってきた時の対策を立てたいです。
先生方保護者の方々、ご指導お世話どうもありがとうございました。

大江くん 今日は試合に出していただきありがとうございました。
課題にしていた足の動きを気をつけることはできたのですが、決定打にかけてしまったのが残念です。次の試合では気を抜かずに攻め続けようと思います。

轡田くん 浦和地区剣道錬成会に出場させて頂きありがとうございました。
今回は1回しか勝てなかったけれど、1回でも勝つことができるととても嬉しかったです。本荘先生から、打ちがふわっとなっていたとご指導いただいたので、これからは気をつけて打ちたいです。母からは声を大きく出して、残心がとれたらもっといいと言われたので、普段から意識して稽古を続けていきたいです。たくさん試合をし、また色々な試合を見ることができ、とてもいい経験をすることができました。

秋本くん この度は、錬成会に出場させていただきありがとうございました。反省点は、重心が右足に乗っていたため相手より1テンポ遅れて打ってしまい、返し胴で胴をおさえられてしまったことです。これを改善するために、左足に重心を乗せて稽古に励んでいきたいと思います。先生・先輩方、これからも稽古よろしくをお願いします。

加藤くん 浦和地区剣道錬成会に参加させて頂き有難うございました。団体戦だったのでチームの足を引っ張らないようにしなくては、という思いがありました。大きな声を出す事は心がけましたが、怪我続きでのお稽古不足が試合内容に出てしまい、改めて日々のお稽古の積み重ねが大切だと痛感しました。
ご指導頂いた先生方、付き添って下さった保護者の皆さん、どうも有難うございました。

上岡くん 今回の大会で、初めて大将を経験しました。その試合で勝てたのでうれしかったです。
今までで一番力を出しきれたと思います。次やる試合までにはもっともっと強くなりたいです。

廣江さん 浦和地区剣道錬成会に出させていただき、ありがとうございました。今回は、初めてたくさんの試合ができました。前回の大会の反省点だった小さい面が打てるようになりました。しかし、もっと大きな声で打たないと一本にならないので、稽古で大きな声で技を出していきたいと思います。それと、先生に「胴打ちの練習をなささい」と言われたので、一本になる胴が打てるよう稽古したいです。次の大会まで、これらを目指して頑張ります。

宮島さん 錬成会に出させていただき、ありがとうございました。
今回、私は相メンで負けてしまうことが多かったです。
先に攻めて思い切って打つことができなかつたからだと思います。
須山先生に教えていただいたメン打ちと気持ちで負けなことを意識して、これからのけいこに励みたいです。



百木くん 錬成会に出ささせていただきありがとうございました。僕は10試合しましたが、一度も勝てず、全て負けてしまいました。自分から攻められなかったからだと思います。先生にも自信を持ってどんどん向かっていけと言われたのに、自分では打とうと思っていても、動きが止まってしまって、前に出られませんでした。足の使い方が上手くできないので、使えるようにがんばりたいです。

岩田くん 浦和地区剣道錬成会に出場させていただきありがとうございました。今回は、高学年のチームだったので、背の高い相手から面を決めた時は気持ちよかったです。途中で選手交代をしてもらったりBチームのみんなに迷惑をかけたので、次回は全試合出られるように、稽古を頑張ります。

小澤くん 浦和剣道錬成会に出させて頂いて、ありがとうございました。全ての試合で癖を注意されました。その癖で勝てませんでした。自分でも、相手から引いてしまって、まともに打つことが出来ませんでした。次回からは、癖を直して、積極的に剣道が出来れば良いと思っています。

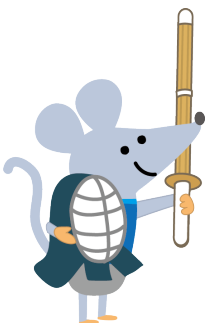
小島くん 初めて試合に参加しました。先生に引き技をしないように言われ、攻めていくことで勝てた試合もありました。面しか取れなかったので小手や胴も練習して取れるようになりたいです。試合では間合いが近すぎるが多かったので正しい間合いで打てるようにしたいです。

品田くん 錬成会に参加させていただきありがとうございました。前回の試合では「声を大きく出す」という反省を書きました。今回の錬成会では、それができるようにがんばりました。試合の後、尾島先生からぼくは胴を打つと面が空くので、面と小手を打つようにと言われました。これからの地稽古で面と小手をうまく打つ練習をしたいです。

柴田くん 浦和地区剣道錬成会に出場させていただきありがとうございました。ぼくは高学年Aチームで出場しました。体の大きい相手と戦い、面がなかなか決まらず苦戦した対戦も多かったですが、胴や小手が決まり4勝3敗4分けという結果でした。今回の試合では、足を使い、相手の技を待たずに自分から攻めることができました。また、前屈みにならないように打つ時の姿勢に気をつけるという課題も見つかりました。そのことに気をつけて、これからも稽古を頑張りたいと思います。

矢嶋くん 今回の錬成会に参加させていただきありがとうございました。3勝することができ、色々な選手と試合ができたことが良い経験になりました。

高山くん れん成会にさん加させていただき、ありがとうございました。はじめての外でのし合で、はじめはすごくきんちょうしたけれど、尾島先生から「自しんを持って行って。」と言われて、自しんを持ってはやくふり下ろしたら、面がきまって一本を取ることができて、とてもうれしかったです。これからは、し合にいかせるようなふみこみやすぶりの練習をしていきたいです。



廣江くん

浦和地区剣道錬成会に出させていただきました。僕は、足を使って攻めることを目標にして頑張りました。1試合目は、緊張してそれができなかったけど、2試合目からだんだん慣れてきて、それができるようになってきました。最後のリーグでは、松井剣志会など、高学年の強いチームと対戦し、負けるとしてしまい、全然足が動かさず、ただ打っているだけになってしまいました。次の大会は、もっと足を使って攻め、どんな相手でも有効打突が取れるようになりたいです。

宮島くん

れんせい会に出させていただきましたありがとうございます。今回の試合では、前に出て色々な技をためすというもくひょうで試合にのぞみました。いつもより、せっきょくてきに技が出せたと思います。ドウでも一本が取れてうれしかったです。次回からは、コテも一本になるようにけいこをがんばりたいです。これからも、ごしどうよろしくおねがいします。

百木さん

錬成会に出させていただきましたありがとうございます。私はたくさん試合をしましたが、勝てたのは1回だけでした。自分から攻めるようにしましたが一本にならず悔しかったです。もっと打つ場所をよく見て、狙って打てるようにしたいです。



石井のetc日記 @ 昇殿審査

① その日の朝・台所で...



② 会場で



※ギャラリーには先生方が横一列に並んでみられたりする...

おかげさまで何とかなりました。
これからもよろしくお願ひ致します!!